

女夫石遺跡発掘調査速報

No.26

これまで紹介したように女夫石遺跡には女夫石縄文人が居住域の上方に土器、石器や土偶などが廃棄されています。そして、これは単なるゴミを捨てるということではなさそうです。さて、一体どんな意味が隠されているのか？それを探る前に、女夫石縄文人が女夫石遺跡の地に住み始めた頃はどんな様子だったのかを発掘調査から検討してみようというのが今回の速報です。

井戸尻式の頃は岩が本当に大きく見えていました。当然、草などは岩の合間から生えていたのですが、岩がゴロゴロしている状況を女夫石縄文人も見ていたはずだね。そんな岩の中でも一番目立つこの大きな岩、この岩を中心に何かしようと女夫石縄文人たちは決めたのかな？

岩の周りからは完全な形のままでの土器も出ています。井戸尻式の頃は使えるものまでここに捨てたのかな～？それとも一見壊れていなくても女夫石縄文人にとっては使えなくなったものなのかな～？

岩が埋もれそうになる曾利式後半の頃にはどう見ても壊れた土器が捨てられているみたいです。時期によって捨て方が違うのかな？

土偶はどの時代も壊れた状態でしか出てこないけどね！

いろいろ不思議なことがあって面白いね！



沢リ：最初に女夫石縄文人が女夫石遺跡で生活し始めた頃はどんな様子壇丹だろうね？土器や石器などはまだ捨てられていないはずだね。

マキ：今、調査しているのが、最初の頃の地面らしいよ！大きな岩の全体像が見えて、住まいの空間との間は少し凹んでいるみたいだよ！権現沢（こんげんざわ）が今の位置よりも上を流れていた時のくぼみらしいよ！

沢リ：じゃあ、最初の頃は少しくぼんだ所に土器や石器を捨てていたんだね。

マキ：そうだね、でもあつという間にくぼみはなくなって緩やかな斜面になったみたいだよ。その後も土器や石器を捨てたみたいだよ。

沢リ：女夫石縄文人が捨てた最後の曾利式の後半の頃には、もう大きな岩はかなり埋まってしまったんだね。

マキ：岩がほとんど見えなくなるのと、女夫石縄文人が岩の回りに土器や石器を捨てなくなるのが一緒だなんて、何か意味深だね！

沢リ：それにしても、まだまだ下から土器が出てくるんだからすごいよね。しかも完全な形のものまでも出てくるのだから。完全な形のものは本当に不用品として捨てたのかな？捨てたというよりも、置いたような感じがするけど・・・。

マキ：本当だね、曾利式の後半と井戸尻式の時とでは、捨て方が違うのかも知れないね。（つづく）



女夫石遺跡の北側を流れる唐沢（権現沢）は、女夫石縄文人が個の地に訪れる前は違う場所を流れていたみたいです。どこかといえば、今発掘している場所の南側です。ちょうど、たくさんの土器・石器・土偶が発見されている部分です。女夫石縄文人が女夫石遺跡を訪れたときは、昔流れていた沢のくぼみが少し残っていたと考えられます。井戸尻式の頃はそのくぼみを利用したようです。でも、あつという間にくぼみはなくなります。それでも、土器や石器をこの場所に捨てたみたいです。なぜだと思いますか？

なぜなの？
誰かいい考えはないですか？

